

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ナノデス アクセラインリミテッド 2013	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.470	△RG 0.056	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：アクセライン・リミテッド 2013

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

比較対照ボール：アクセライン・リミテッド

フレアーの幅 インチ

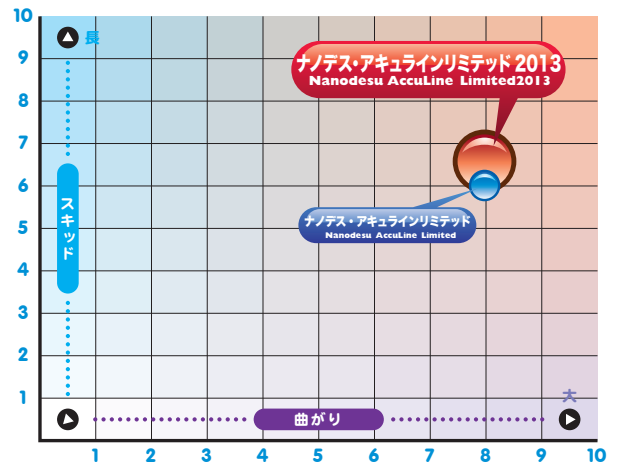
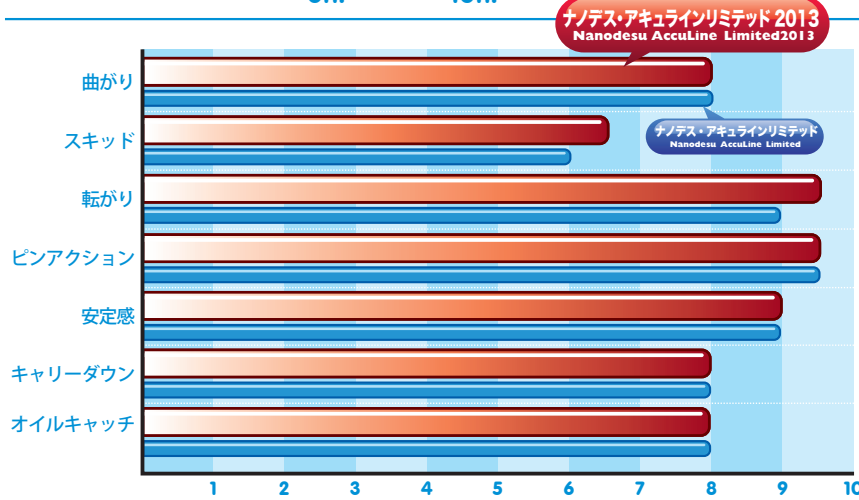
PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

前回限定発売したアクセラインリミテッドは想像を遥かに超え、追加生産でも間に合わない反響を頂きました。そしてその性能はナノデスシリーズに恥じないパフォーマンスと結果を残し、新たな2013年モデルへバージョンアップします。今回も同様マルチカラーで構成されたカバーストックは、「走るボール」と「キャッチのボール」2系統3種のボール配合比を調節することで、LIMITEDの走りを生かしながらキャッチを強めることを求めました。しかしキャッチを先行させないようにボックスフィニッシュを前回の#3000ポリッシュから#10000ポリッシュにして、LIMITEDよりフッキングが奥になる仕様になっています。実際に比較投球してみると、BIG Shuttle coreの比重変更で手前からの転がりが増しましたが、#10000ポリッシュの加工もあり、LIMITED 2013は長めのスキッドを感じます。しかしキャッチを強めに出しているカバーの特性はドライゾーンで反映され、LIMITEDよりスキッドしても全体的な曲り幅はLIMITEDとほぼ同等の幅で投球できましたので、LIMITED 2013のリアクションがそれだけ大きいのが理解して頂けると思います。LIMITEDならではのマルチカラー、ブラック/レッド/ガンメタリックも転がりの良さも手伝い、邪魔になる配色ではなく、逆に良く転がって見えます。アクセライン8プラス、アクセラインPremium、アクセラインLIMITEDと所謂ナノデスの走り系のボールは過去爆発的人気を誇ったボール。であるならば、このアクセラインLIMITED2013も必ず期待を裏切らない性能であると言えるでしょう。今回も拘りつくしたLIMITED2013はきっと皆様の期待に応えてくれるはず。迷わずオーダーしてください。

特記事項

先での柔らかいネジレを演出するBIG Shuttle coreと絶妙にボール配合されたNEWカバー。LIMITED2013に一点の曇りもありません。オーダーはお早めに！